

健康長寿を実現する

住まいとコミュニティの創造

地域間交流会(第2回) 多摩と梶原から考える健康長寿

高齢化率40%と日本の40年後の姿を先取りしている高知県梶原(ゆすはら)町では、1971年に無医村となった経験を踏まえ、「住民の健康は住民で守る」を理念とした生活習慣改善による“一次予防”の取り組みが30数年継続され、健康長寿の町として知られています。2012年度には、科学技術振興機構の公募事業に採択され、住まいとコミュニティの改善による“ゼロ次予防”に拡張する試みが始まりました。

本地域交流会では、多摩市と柏市における先進的な健康長寿への取り組みを学びに来る梶原町民10数名を交え、多摩と梶原から住まいとコミュニティの改善による健康長寿を考えます。

日時 平成25年**5月17日(金)**

14:00～17:20(13:30開場)

場所 **首都大学東京 南大沢キャンパス**

国際交流会館 大会議室(定員120名)

京王相模原線 南大沢駅下車徒歩13分

参加費 **無料(一般公開)**できる限り事前申込をお願いします

進行 13:30 開 場 パネル展示、ビデオ上映

14:00 開 会 伊藤 史子 首都大学東京教授(総務司会)

14:05 基調講演 健康長寿を実現する住まいとコミュニティの創造
伊香賀俊治 慶應義塾大学教授

15:00 休 憩 パネル展示、ビデオ上映

15:20 パネル討論 多摩と梶原から考える健康長寿

星 旦二 首都大学東京教授、第4次多摩市総合計画審議会会長(進行)

田上 豊資 高知県医監、中央東福祉保健所長(日本一の健康長寿県構想)

内田 望 梶原町立国保梶原病院長(支えあいの地域包括ケア)

戸梶 匠美 梶原町健康文化の里づくり推進員第8期会長(健康推進員の活動)

櫻井 尚子 東京慈恵会医科大学教授(多摩市健康計画報告)

片桐 徹也 多摩大学経営情報学部客員准教授(多摩市活動報告)

貴志 義孝 日野市未病の会会長(日野市の市民活動報告)

竹内 東朗 多摩市老人クラブ連合会、あたごミニバス運行委員会会長

17:20 閉 会 (ミニバス運行)

交流会 17:30 国際交流会館内「ルヴェソンヴェール南大沢」

立食ビュッフェ料理(会費 4,000円/人) できる限り事前申込をお願いします

主催 独立行政法人科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)採択プロジェクト
健康長寿を実現する住まいとコミュニティの創造

(研究代表者: 伊香賀俊治 慶應義塾大学教授、公衆衛生研究G代表: 星 旦二 首都大学東京教授)

<http://www.ikaga-yusuhara.jp/>

申込先 慶應義塾大学 理工学部 伊香賀研究室(馬場美帆秘書)

TEL&FAX: 045-566-1770 E-mail: baba@ikaga.sd.keio.ac.jp



星旦二: ゼロ次予防に関する試論, 地域保健vol. 20-6, 1989

